

そうやってみんなで「やるっきゃない」して日本中に天文教室を作りましょう。新聞雑誌、学校や教育機関、放送出版は言うに及ばず、場立ちさんにお役人、不動産屋に政治家、日本中を、すべて職業を天文卒業生で埋めましょう。

そんなたくさんの天文学生から、特によりすぐって天文の研究を続けたい人が出てきます。より大きな母集団から出たこれらの人、研究能力も高いはずで、そして同窓生は広く社会でユニーク

な活躍をしています。天文学対社会、いろいろな面で（すぐに寄付集めなんて短絡したとしても）やりやすくなっているでしょう。

広い範囲で物事を見、そして個々の現象にも適用していく力量をもった人が日本にあふれるのです。バブルに地あげ、政治家の汚職、学校に教育、天文学の研究、何一つ取っても、今とは、はつきり違った様子を見せるでしょう。

森本雅樹（野辺山電波天文台）

月報だより

人事公募

「天文月報」での人事公募記事を読み易く整理するために、以下のように標準書式を決めてみました。なるべく、この項にしたがってご投稿下さいますようお願いいたします。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）
2. (1)所属部門・所属講座, (2)勤務地
3. 専務分野
4. 職務内容・担当科目
5. (1)着任時期, (2)任期
6. 応募資格
7. 提出書類
8. 応募締切・受付期間
9. (1)提出先, (2)問合せ先
10. 応募上の注意
11. その他（待遇など）

国立天文台岡山天体物理観測所教官

1. 助手1名
2. (1) 国立天文台岡山天体物理観測所
(2) 国立天文台岡山天体物理観測所
3. 光学赤外線天文学
4. 光学赤外線天文学の研究を行うとともに、岡山天体物理観測所における共同利用運用および機器・システム開発等を推進する。また、大型光学赤外線望遠鏡計画にも参画する。
5. 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程終了、またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リストおよび主要論文別刷, (4) 研究計画, (5) 本人について意見を述べられる2名の氏名と連絡先
8. 1993年4月30日(金)必着
- (9). (1). 〒181 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 古在 由秀
(2) 国立天文台太陽物理学研究系
平山 淳 TEL: 0422-34-3720
FAX: 0422-34-3700
10. 封筒の表に「岡山天体物理観測所応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送りください。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

高知大学教育学部教官

1. 助教授1名
2. (1) 地学
 - (2) 採用後は、高知市又はその周辺に居住すること。
3. いわゆる地学（宇宙物理学，地球物理学を含む）
4. 地学及び地学実験（コンピュータの活用を含む）など，その他地学に関連した講義，実験
5. (1) 平成5年10月1日
6. ①採用予定日に博士の学位を有する者。②大学院教育学部研究科（修士課程）が設置された場合は，大学院の講義・演習を担当できる者。③30歳くらいから35歳くらいまで（平成5年4月1日現在）
7. ①自筆略歴書（写真貼付，家族状況記載のもの）②研究業績（研究業績一覧表並びに著書，論文掲載誌又はその抜刷等，コピー可。主要業績3点については300字程度の要約をつけること）③健康診断書（国公立病院又は保健所等の作成のもの）（注）採用予定者となった場合には，再提出を必要とすることがある。④成績証明書（最終学歴のものとする）⑤卒業・修了証明書（大学卒業以降のもの必要）⑥その他，推薦状があれば添付すること。[なお，審査終了後に②はお返しします。]
8. 平成5年5月6日（必着）
- (9). (1) 〒780 高知市曙町2丁目5番1号
高知大学教育学部長 宛
- (2) 高知大学教育学部理科教室
電話 0888(44)8417（山口）
FAX 0888(44)8453
不在の時は教育学部庶務係
電話 0888(44)8367
10. 提出書類は「書留」とし，封筒に「教官公募（地学）関係書類在中」と朱書のこと。

会費納入のお願い

天文学会は，主に会員の皆様から納入される会費によって運営されております。

また4月より会計年度が改まります。なるべく早く会費を納入されますようお願いいたします。なお会費納入の際，他の費用も併せて納入する場合は納入金額の内容を付記してください。特にご自身の**氏名・会員番号**を忘れずご記入下さい。

（会員番号→p. 179 参照）

年会費

通常会員会費……………年額 6,000円
特別会員会費…………… 〃 16,000円
〃（学生会費）…………… 〃 12,000円
賛助会員会費……………1口 30,000円

◎ 特別会員のうち，学生会費は，大学院生，研究生等，定収入のない学生が対象です。納入の際に，申告年月日および学生の身分を明示した本人の署名を添えて，申告して下さい。申告には，学会事務室にある所定用紙か，郵便振替の通信欄をご利用下さい。

◎ 年会費は，今月号に挿入の振替用紙（手数料は本会負担）による払い込みか現金書留，あるいは銀行振込で，**4月末日**までにお納め下さい。

郵便振替口座：東京 6-13595

社団法人 日本天文学会

銀行口座：三菱銀行 三鷹支店

普通預金口座 4434400

社団法人 日本天文学会

連絡先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

社団法人 日本天文学会

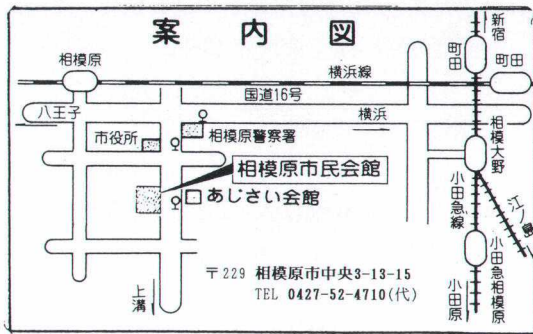
電話 0422-31-1359（FAX 兼用）

0422-34-3648

（学会会計理事）

春季年会 宿舎案内

宿舎名	電話	住所	徒歩時間	シカール料金
相模大野駅（小田急線）				
ホテルサンエイト	0427-48-2600	相模原市上鶴間3593-33	南口1分	5,800～
ビジネス旅館みやざき	0427-42-1043	相模大野9-6-5	5分	5,000～
淵野辺駅（JR横浜線）				
相模原第一ホテル	0427-51-6551	淵野辺4-15-11	8分	6,300
相模原駅（JR横浜線）				
ビジネスイントレピ	0427-54-5554	相模原1-3-17	2分	6,000
清真亭（二食付、個室無）	0427-52-3109	3-3-5	1分	6,500～
ホテルグランドパレス相模原	0427-51-5151	中央3-6-3	（バス5分）	7,817
ビジネスホテル スクレ	0427-52-1515	相模原3-7-3	5分	9,000
松蔦園ホテル	0427-54-5500	3-4-4	2分	6,500
町田駅（JR横浜線・小田急線）				
ビジネスインサンホテル	0427-24-0708	町田市原町田4-11-15	4分	7,500
ホテルザエルシィ町田	0427-24-3111	3-2-9	8分	10,000
ホテル町田ヴィラ	0427-24-0840	森野1-20-7	2分	7,900
ホテル新宿屋	0427-22-3112	原町田6-13-22	東口1分	8,500
ホテルラポール千寿閣	0427-49-1121	相模原市上鶴間2800	南口4分	8,600
八王子駅（JR中央線）				
三恵シティホテル八王子	0426-22-3388	八王子市寺町60-1	5分	7,000
ホテルツカモト	0426-25-9861	三崎町2-14	2分	6,500
マロウドイン八王子	0426-23-7111	6-11	10分	7,500～
ビジネスホテル ヤジマ	0426-42-9111	明神町2-25-4	7分	4,500～
山本旅館	0426-42-0518	3-8-12	5分	5,000



- ①横浜線相模原駅下車 バス上溝行
直通…市民会館前下車
富士見経由…市役所前下車
- ②小田急線相模大野駅下車
バス JR 相模原駅行…警察署前下車
（鶯野森経由）

公開講演会

森本雅樹氏（国立天文台・野辺山，3月で退官予定）

講演題目：電波望遠鏡で世界はひとつ

井上 一氏（宇宙科学研究所）

講演題目：X線で見ると新しい宇宙像

会場：相模原市あじさい会館

会員番号について

新しい会員名簿に、会員番号が付記されています。学会での事務処理を迅速に進めるために、会費納入、お問い合わせ等、天文学会への連絡の際には会員番号を付記して下さいますようお願いいたします。

会員名簿（関係機関）の訂正について

日本天文学会会員名簿（1992年11月30日現在）の誤印刷に関しては4月号に正誤表を挿入しましたが、名簿発行後関係機関の訂正依頼がありましたので、公的関係機関〔名簿(2)～(6)〕に限り6月号に再掲載することにしました。

お気づきの機関がありましたら4月30日までご連絡下さい。その際は「はがき・変更カード・FAX等」記録の残る形でご一報下さい。

連絡先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台内

社団法人 日本天文学会

FAX：0422-31-1359（電話兼用）

星空市場

“意見”

私は今年度入会させて頂いた者です。毎月の月報拝読しています。

93年1月号の「はるかな時空をかける処女たち」を興味深く拝見しました。さて、その表題の中の「処女」ということばに、ひっかかりを感じます。この論文を女性研究者が発表するとしたら、この語を用いるのでしょうか。「人」を表現することばを吟味して使わなければならない今の世の中で、このことばを何にでもものたえ、初めての代名詞として用うのは、いかななものでしょう

か。他のことば、例えば初周回彗星とか、原初彗星とか（これは全く私案ですが）、科学論文にふさわしい表現を用いてほしいと思います。彗星を女性と表現し「われわれ天文学者」が片思いするという。天文学者に女性もおられることですし、今少し配慮があってもよいと思ひまして一筆したためました。

他の読者の方は、いかががお考えになりますか。

加藤公子（神奈川県）